

## ◆年間指導計画例 【3年】

領域〈系統〉教材名 ・ ページ数・ 配当時数 (他は他教科との関連)	学習指導要領との対応 (下線は重点)	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (◎は重点)
(4月 2時間)				
読む〈詩(巻頭詩)〉 生命は 巻頭 1時間	【思判表】C(1) <u>ウ</u> ㊦ C(2)イ	・ 効果的な表現に注意して内容を解釈し、読み方を工夫して音読する。	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 詩の意味や効果的な表現を捉え、文末表現などに注意して、読み方を工夫して音読する。	【思判表】◎「読むこと」において、詩の構成や展開、表現の仕方について評価している。 【主】・進んで表現に注意して内容を解釈し、学習課題に沿って、工夫して音読しようとしている。
読む〈言葉の学習〉 二つのアザミ P14 1時間	【知技】(1)イ 【思判表】C(1) <u>エ</u> ㊦ C(2)イ	・ 読み取ったことをもとに、言葉と自分自身との関わりなどについて自分の考えを持つ。	1 タイトル下の問いかけ(P14)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 アザミに関する対比的な表現などに注意して筆者の考えを捉え、言葉と自分自身との関わりについてなど、考えたことを話し合う。	【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章を読むことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、言葉について、自分の考えを持っている。 【主】・進んで読み取ったことをもとに考えを広げたり深めたりし、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。
1 言葉を磨く(4~5月 6時間)				
読む〈言語感覚〉 俳句の読み方、味わい方／俳句五句 P18 2時間	【知技】(1)イ 【思判表】C(1) <u>イウ</u> ㊦ C(2)イ	・ 表現の工夫に注意しながら情景や心情を想像し、俳句を読み味わう。 ・ 俳句のよさを評価して、鑑賞文をまとめる。	1 タイトル下の問いかけ(P18)や「てびき」の目標(P22)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 設問①(P22)に取り組み、三句の俳句について情景や心情を捉え、音読して読み味わう。 4 設問②に取り組み、「俳句五句」のそれぞれの句に詠まれている情景や心情を想像したり、気に入った句を暗唱したりする。	【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、俳句を鑑賞することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【思判表】◎「読むこと」において、俳句の構成や表現の仕方について評価している。 【主】・進んで表現の工夫に注意しながら俳句に詠まれた情景や心情を想像し、学習課題に沿って、俳句のよ

			<p>5 設問③に取り組み、「俳句五句」(あるいは、「扉の俳句七句」を加えた十二句)から一句を選び、その句のよさを取り上げて、鑑賞文をまとめる。</p> <p>*「言葉の力 俳句を鑑賞する」を読んで、俳句を鑑賞するときのポイントを理解する。</p> <p>6 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>さを評価して、鑑賞文にまとめようとしている。</p>
<p>書く〈詩歌創作〉 俳句を作って句会を開こう</p> <p>P 23 2 時間</p>	<p>[思判表] B(1) オ</p> <p>㊦ B(2)ア</p>	<p>・俳句を作って互いに読み合い、作品のよさを評価する。</p>	<p>1 教材冒頭(P 23)の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～②(P 23～24)に取り組み、俳句を作って句会を開く。</p> <p>*「言葉の力 読み合って評価する」(P 24)を読んで、俳句を読み合って評価するときのポイントを確かめる。</p> <p>*俳句を作る際、「さまざまな季語」(P 25)を適宜参考にするのもよい。</p> <p>3 「振り返り」(P 24)を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>[思判表] ◎「書くこと」において、読み手からの助言などを踏まえ、自分の俳句のよい点や改善点を見だしている。</p> <p>[主]・積極的に俳句を詠み、学習課題に沿って作品のよさを評価しようとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 和語・漢語・外来語 ——お化けの館でクイズ対決</p> <p>P 26 1 時間</p>	<p>[知技] (1)イ</p>	<p>・和語・漢語・外来語の特徴について理解する。</p>	<p>1 教材(P 26～27)を読んで、和語・漢語・外来語の特徴が、話や文章の中でどのように表れているのかを大まかにつかむ。</p> <p>2 「まとめ」(P 27)を読んで、和語・漢語・外来語の区別や、それぞれの特徴について理解する。</p>	<p>[知技] ◎和語、漢語、外来語を使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[主]・進んで和語、漢語、外来語について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 他教科で学ぶ漢字(1)</p> <p>P 28 1 時間</p> <p>㊧社会・理科・技術・家</p>	<p>[知技] (1)エ</p>	<p>・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>1 問題(P 28)に取り組み、社会、理科、技術、家庭、保健体育で学ぶ語句に用いられる漢字を確認する。</p> <p>*他教科の教科書を適宜参照し、その漢字が含まれる語句を学ぶ時期や、その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。</p>	<p>[知技] ◎他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>[主]・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>

庭・保健体育				
2 作品を論じる (5～6月 12時間)				
読む〈文学一〉 形  P 30 3時間	<b>【知技】</b> (1)イ <b>【思判表】</b> C(1) <u>アウ</u> (活) C(2)イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面ごとの人物の考えや人物どうしの関係を捉えて、作品を読み味わう。</li> <li>場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を批評する。</li> </ul>	1 タイトル下の問いかけ (P 30) や「てびき」の目標 (P 34) を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 設問①～③ (P 34) に取り組み、場面の展開や登場人物の設定の仕方、人物の考えや心情を捉えて作品を読み味わう。 4 設問④に取り組み、古典作品「松山新介の勇将中村新兵衛が事」(P 35) と読み比べ、「形」の内容や表現の特徴を捉えたうえで、この小説の工夫や魅力についてまとめる。 * 「言葉の力 作品を批評する」(P 34) を読んで、小説などの文学作品を批評するときのポイントを理解する。 5 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>【知技】</b> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章を読むことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>【思判表】</b> ◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、小説の展開の仕方などを捉えている。 <b>【思判表】</b> ◎「読むこと」において、場面の展開や表現の仕方について評価している。 <b>【主】</b> ・進んで人物の考えや人物どうしの関係を捉え、学習課題に沿って、場面の展開や表現の仕方に着目しながら作品を批評しようとしている。
学びの扉／学びを支える 言葉の力〈文学的な言葉の力——解釈する力〉 人物どうしの関係に着目する  P 36／P 246 1時間	<b>【思判表】</b> C(1) <u>ア</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物の特徴や、人物どうしの関係の変化、象徴を捉える。</li> </ul>	1 教材 (P 36) を読んで、優馬と友達の間を想像する。 2 <b>【基】</b> 「人物どうしの関係に着目する」(P 246～249) を読んで、人物の特徴や、人物どうしの関係の変化、象徴について理解を深め、物語を読み深める。  * <b>【D】</b> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	<b>【思判表】</b> ◎「読むこと」において、人物の特徴や、人物どうしの関係、象徴に着目して、物語の展開の仕方などを捉えている。 <b>【主】</b> ・進んで人物の特徴や、人物どうしの関係、象徴について理解し、学習課題に沿って物語を読み深めようとしている。
読む〈文学一〉 百科事典少女  P 37 4時間	<b>【知技】</b> (1)イ <b>【思判表】</b> C(1) <u>アウ</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面ごとの人物の考えや人物どうしの関係を捉えて、作品を読み味わう。</li> </ul>	1 タイトル下の問いかけ (P 37) や「てびき」の目標 (P 50) を確認し、学習の見通しを持つ。 * 「形」と共通の学習目標であり、前の学びを生かしていくことを確認するとよい。	<b>【知技】</b> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>【思判表】</b> ◎「読むこと」において、文章の種類を踏ま

	<p>㊦ C(2)イ</p>	<p>・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を批評する。</p>	<p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 設問①～③（P50）に取り組み、場面の展開や登場人物の設定の仕方、人物の考えや心情を捉えて作品を読み味わう。</p> <p>*前の「人物どうしの関係に着目する」（P36/㊦P246～249）で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>4 設問④に取り組み、作品の最後の部分の展開や表現を捉え、その意味や効果について話し合う。</p> <p>*「言葉の力 作品を批評する」（P34）を参照し、ポイントを振り返るとよい。</p> <p>5 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>6 「広がる言葉」（P51）に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>*㊦「言葉を広げよう——批評する言葉」（P339～341）を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。</p> <p>*この教材に加えて、㊦「風の唄」（P268～280）を読み、人物どうしの関係を捉える学習を深めたり、作品を批評したりするのもよい。</p>	<p>えて、小説の展開の仕方などを捉えている。</p> <p>[思判表] ◎「読むこと」において、場面の展開や表現の仕方について評価している。</p> <p>[主] ・進んで人物の考えや人物どうしの関係を捉え、学習課題に沿って、場面の展開や表現の仕方に着目しながら作品を批評しようとしている。</p>
<p>話す・聞く〈聞く〉 評価しながら聞こう P52 2時間 ㊦社会（公民）・理科・家庭・保健体育</p>	<p>[知技] (2)ア [思判表] A(1) エ ㊦ A(2)ア</p>	<p>・話の内容や表現の仕方を評価しながら聞き、自分の考えを広げる。</p>	<p>1 教材冒頭（P52）の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～②（P52～55）に取り組み、評価の観点を見つけ、さまざまな観点から評価しながらスピーチを聞く。</p> <p>*「言葉の力 話の内容や表現の仕方を評価する」（P54）を読んで、聞き取ったことを評価する際のポイントを確認する。</p> <p>3 「振り返り」（P55）を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>[知技] ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>[思判表] ◎「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主] ・話の内容や表現の仕方について評価の観点を探すことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って、評価しながら話を聞こうとしている。</p>

			* <b>D</b> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	
言葉〈日本語探検〉 間違いやすい敬語—— 宇宙人の先生がいらっ しゃられる？  P 56 1 時間	[ <b>知技</b> ](1)エ	・間違いやすい敬語と、正しい敬語の使い方について理解し、敬語を適切に使う。	1 教材(P56～57)を読んで、さまざまな敬語が、話や文章の中でどのように間違っ て使われがちであるのかを大まかにつかむ。 2 「まとめ」(P57)を読んで、正しい敬語の使い方を理解する。 3 <b>資</b> 「敬語のまとめ」(P310～311)を読んで、間違いやすい敬語と、正しい敬語の使い方について理解を深める。	[ <b>知技</b> ]◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 [ <b>主</b> ]・進んで間違いやすい敬語とその正しい使い方について理解し、見通しを持って正しい敬語を話や文章の中で使おうとしている。
言葉〈漢字道場〉 熟語の構成・熟字訓  P 58 1 時間	[ <b>知技</b> ](1)ア	・熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使う。	1 「熟語の構成」(P58～59)を読んで、二字熟語の構成について理解し、「問題」①～④に取り組む。 2 「三字熟語」(P60)を読んで、三字熟語の構成について理解し、「問題」⑤に取り組む。 3 「熟字訓」(P60)を読んで、熟字訓について理解し、「問題」⑥に取り組む。	[ <b>知技</b> ]◎熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [ <b>主</b> ]・進んで熟語の構成や熟字訓について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
3 文章の展開を考える(6～7月 15時間)				
学びの扉／学びを支える 言葉の力〈論理的な言葉の 力——分析する力〉 論理的に読む  P 62／P 238 1 時間	[ <b>知技</b> ](1)ウ、(2) ア [ <b>思判表</b> ] C(1) ア	・文と文との関係を考えながら、文章を論理的に読む。	1 教材(P62)を読んで、説明文を読むときにはどんなことに注意したらよいかを考える。 2 <b>基</b> 「論理的に読む」(P238～241)を読んで、説明的な文章の読み方について理解を深め、文章全体を通しての問いと答えや、文と文との関係を捉える。  * <b>D</b> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	[ <b>知技</b> ]・説明的な文章の特徴について理解を深めている。 [ <b>知技</b> ]◎根拠の関係、解説の関係、反対の関係など、情報と情報との関係について理解を深めている。 [ <b>思判表</b> ]◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。 [ <b>主</b> ]・進んで説明的な文章の読み方について理解し、学習課題に沿って、文章全体を通しての問いと答えや、文と文との関係を捉えようとしている。
読む〈構成・展開〉 絶滅の意味	[ <b>知技</b> ](1)イ、(2) ア	・論の進め方や説明の仕方について考	1 タイトル下の問いかけ(P63)や「てびき」の目標(P72)を確認し、学習の見通しを持つ。	[ <b>知技</b> ]・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、

<p>P 63 4 時間</p> <p>他理科</p>	<p>【思判表】 C(1) アウエ</p> <p>活 C(2)ア</p>	<p>える。</p> <p>・人間と自然との関わりについて考え、自分の意見を持つ。</p>	<p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 設問①～④（P72）に取り組み、文章の構成を捉えて内容を読み取り、説得力を高めるための論の進め方について考え、発表し合う。</p> <p>*「言葉の力 説得力を高めるための論の進め方に着目する」を読んで、説得力を高めるための論の進め方について理解する。</p> <p>*前の「論理的に読む」（P62/基 P238～241）で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>4 設問⑤に取り組み、人間と自然との関わりについて、条件に従って自分の意見を書く。</p> <p>5 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>6 「広がる言葉」（P73）に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>*資「言葉を広げよう——硬い言葉・学術的な言葉」（P341～342）を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。</p> <p>*この教材と併せて、資「自然との共存——小笠原諸島」（P281～286）を読み、人間や社会と自然との関わりについて考えるのもよい。</p>	<p>語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>【思判表】・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。</p> <p>【主】・進んで論の進め方や説明の仕方について考え、学習課題に沿って自分の意見を書こうとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える言葉の力〈文学的な言葉の力——表現する力〉 素材を生かして表現する</p> <p>P 74／P 250 1 時間</p>	<p>【思判表】 B(1) ウ</p>	<p>・体験と知識を組み合わせ、効果的に表現する。</p>	<p>1 教材（P74）を読んで、体験と知識をどのように組み合わせたらよいかを考える。</p> <p>2 基「素材を生かして表現する」（P250～253）を読んで、素材となる体験や知識の組み合わせ方について理解を深め、効果的に表現する。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>【思判表】◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりして、分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【主】・進んで素材となる体験や知識の組み合わせ方について理解し、学習課題に沿って効果的に表現しようとしている。</p>

<p>書く〈伝達〉 編集して伝えよう—— 「環境」の新聞 P 75 5 時間 他書写・理科</p>	<p>【知技】(1)ウ, (2)アイ 【思判表】 B(1)アイウ 活 B(2)イ</p>	<p>・環境について調べたいテーマを決め、集めた材料を検討し、伝えたいことを明確にする。 ・伝える目的や内容に適した文章の種類を選択し、構成や表現を工夫して書く。</p>	<p>1 教材冒頭 (P75) の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。 2 手順①～⑤ (P76～81) に取り組み、グループでテーマを設定したうえで個人の題材を決め、集めた情報を吟味したり書き方を工夫したりして、「環境」の新聞を作る。 *「言葉の力 情報の客観性や信頼性を吟味する／文章の種類と構成を考え、内容を膨らませて書く」(P77, 78) を読んで、情報を吟味したり、内容を膨らませて書いたりする際のポイントを確認する。 *前の「素材を生かして表現する」(P74/基 P250～253) で学んだことを生かして取り組むとよい。 *資「話すこと・書くこと 題材例」(P304～305) を見て、テーマ設定の参考にするのもよい。 *資「情報の信頼性を確かめる」(P309) を見て、情報を吟味する際の参考にするのもよい。 3 「振り返り」(P80) を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。 *Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>【知技】・文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【知技】・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【知技】・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思判表】◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 【思判表】◎「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 【思判表】・「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 【主】・積極的に集めた材料を検討し、学習の見通しを持って、文章の種類を選択したり構成を工夫したりしながら新聞記事を書いている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 連語・慣用句——西部 劇の世界へ行こう P 82 1 時間</p>	<p>【知技】(1)イ</p>	<p>・連語や慣用句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p>	<p>1 教材 (P82～83) を読んで、連語や慣用句が話や文章の中でどのように使われているかを大まかにつかむ。 2 「まとめ」(P83) を読んで、連語や慣用句について理解する。適宜、漢字を確認する。</p>	<p>【知技】◎連語や慣用句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【主】・進んで連語や慣用句について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 四字熟語 P 84</p>	<p>【知技】(1)アイ</p>	<p>・四字熟語について理解し、話や文章の中で使うことを通</p>	<p>1 「四字熟語の構成」(P84～85) を読んで、四字熟語の構成について理解し、「問題」①～②に取り組む。 2 「数字を含む四字熟語・故事成語」(P85) を読ん</p>	<p>【知技】・四字熟語について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 【知技】◎四字熟語について理解し、話や文章の中で使</p>

<p>1 時間</p>		<p>して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p>	<p>で、数字を含む四字熟語や故事成語である四字熟語があることを知り、「問題」③～④に取り組む。</p>	<p>うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [主]・進んで四字熟語について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む〈読書〉 恩返しの井戸を掘る P 86 2 時間 他社会（公民）</p>	<p>[知技] (3)オ [思判表] C(1) エ 活 C(2)ア</p>	<p>・読んだ本について感想を交換し、知識を広げ、自分の考えを深める。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ（P 86）と「読書会を開こう」（P 94）を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「恩返しの井戸を掘る」全文を通読し、筆者とギニアの人々との交流からどんなことを考えたか、話し合う。適宜、漢字を確認する。 3 「読書会を開こう」を参考に、読書会を行い、感想を交換する。 *これまでに読んだ本や、「本で世界を広げよう〈国際理解・人権〉」（P 92～93）で紹介されている本を活用してもよい。 *資「私のおすすめの本」（P 287）、「本の世界を楽しもう」（P 288～291）を見て、今後の読書生活の参考にするのもよい。</p>	<p>[知技]◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 [思判表]◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。 [主]・進んで読書の意義について理解を深め、これまでの学習を生かして、読書会で感想を交換しようとしている。</p>
<p>4 多面的に検討する（9～10月 17 時間）</p>				
<p>読む〈吟味・判断〉 幸福について P 96 4 時間</p>	<p>[知技] (1)イ, (2)ア [思判表] C(1) イエ 活 C(2)ア</p>	<p>・文章に表れている考えを捉え、吟味する。 ・文章を読んで自分の考えを持ち、議論の仕方を踏まえて話し合う。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ（P 96）や「てびき」の目標（P 104）を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 設問①（P 104）に取り組み、「カイ」「トッポ」「グー」の考えを捉え、吟味する。 4 設問②～③に取り組み、「幸福」について自分の考えを持ち、議論する。 *脚注のポイント（P 97～100）や、「言葉の力 文章を読んだり、議論をしたりして、考えを深める」（P 104）を読んで、考えを深めるためのポイントを理解する。 5 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>[知技]・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [知技]・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 [思判表]◎「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 [思判表]◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 [主]・進んで文章に表れている考えを吟味し、学習課題に沿って自分の考えを持ち、議論しようとしている。</p>



			<p>6 「広がる言葉」(P105)に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>*<b>資</b>「言葉を広げよう——程度を表す言葉」(P342)を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。</p>	る。
<p>学びの扉／学びを支える言葉の力〈論理的な言葉の力——整理する力〉</p> <p>多面的に捉える</p> <p>P106／P234</p> <p>1時間</p>	<p><b>【思判表】</b> B(1)ア</p>	<p>・話し合ったり比較したりして、物事を多面的に捉える。</p>	<p>1 教材(P106)を読んで、三人の発言のどこに問題があるのかを考える。</p> <p>2 <b>基</b>「多面的に捉える」(P234～237)を読んで、物事を多面的に捉えることについて理解を深め、他の人と話し合ったり、他のものと比較したりする。</p> <p>*<b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p><b>【思判表】</b> ◎「書くこと」において、話し合いや比較を通して物事を多面的に捉えている。</p> <p><b>【主】</b>・進んで物事を多面的に捉えることについて理解し、学習課題に沿って話し合ったり比較したりしようとしている。</p>
<p>書く〈論証・説得〉</p> <p>観察・分析して論じよう——「ポスター」の批評文</p> <p>P107</p> <p>5時間</p> <p><b>他</b>家庭</p>	<p><b>【知技】</b>(1)イ,(2)ア</p> <p><b>【思判表】</b> B(1)アウ</p> <p><b>活</b> B(2)ア</p>	<p>・批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。</p> <p>・論の進め方を考え、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。</p>	<p>1 教材冒頭(P107)の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～⑤(P108～112)を読んで、批評文の書き方を確認する。</p> <p>*手順②で、「食品ロス」のポスターA～Cそれぞれについて観察・分析してみるのもよい。</p> <p>*「言葉の力 複数の対象を比較し、特徴を多面的に捉える／説得力のある批評文を書く」(P110)を読んで、対象を比較して判断したり、批評文に説得力を持たせたりするためのポイントを確かめる。</p> <p>*前の「多面的に捉える」(P106/<b>基</b>P234～237)で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>3 手順①～⑤に従って「問題」(P112～113)に取り組み、日本旅行を勧めるポスターA～Cを観察・分析して、批評文を書く。</p> <p>*<b>資</b>「言葉を広げよう——批評する言葉」(P339～341)を見て、批評文を書く際の参考にするとよい。</p> <p>4 「振り返り」(P113)を読み、学習を振り返って、</p>	<p><b>【知技】</b>・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>【知技】</b>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p><b>【思判表】</b> ◎「書くこと」において、批評の対象を観察・分析したり比較したりして、伝えたいことを明確にしている。</p> <p><b>【思判表】</b> ◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p><b>【主】</b>・批評の対象を多面的に捉えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って説得力のある批評文を書こうとしている。</p>

			学んだことを自分の言葉でまとめる。	
学びの扉／学びを支える 言葉の力〈対話的な言葉の 力——伝え合う力〉 相手や目的に応じて伝 える  P 114／P 254 1 時間	<b>【思判表】</b> A(1) イ	・相手や目的に応じ て適切な話題を選 択し、分かりやすく 説明する。	1 教材 (P 114) を読んで、人に何かを説明するとき に注意すべきことについて考える。 2 <b>【基】</b> 「相手や目的に応じて伝える」(P 254～257) を 読んで、相手や目的に応じた説明の仕方について理解 を深め、適切な話題を選択したり、内容を整理したり、 表現を工夫したりする。  * <b>【D】</b> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用 意されているので、適宜利用するとよい。	<b>【思判表】</b> ◎「話すこと・聞くこと」において、相手や 目的に応じて、話題や、内容の組み立て、表現を工夫 している。 <b>【主】</b> ・進んで相手や目的に応じた説明の仕方について 理解し、学習課題に沿って話題を選んだり、内容を 整理したり、表現を工夫したりしようとしている。
話す・聞く〈話す〉 場面に応じて話そう ——条件スピーチ  P 115 3 時間	<b>【知技】</b> (1)エ, (2) ア <b>【思判表】</b> A(1) イウ  <b>【活】</b> A(2)ア	・自分の考えを明確 にし、相手や目的に 応じて話の内容や 構成を工夫する。 ・場の状況に応じて、 自分の思いや考え が分かりやすく伝 わるように表現を 工夫する。	1 教材冒頭 (P 115) の問いかけと目標を確認し、「学 習の流れ」を見て、見通しを持つ。 2 手順①～④ (P 116～120) に取り組み、社会生活と つながりのある体験について、話す場面を想定してス ピーチをする。 *「言葉の力 相手や目的に応じて、話の内容や構成を 考える／相手の様子や場の状況に応じて話す」(P 117, 118) を読んで、状況に応じて話すための準備を したり実際に話したりする際のポイントを確かめる。 *前の「相手や目的に応じて伝える」(P 114/ <b>【基】</b> P 254 ～257) で学んだことを生かして取り組むとよい。 * <b>【資】</b> 「話すこと・書くこと 題材例」(P 304～305) を見 て、題材探しの参考にするとよい。 3 「振り返り」(P 120) を読み、学習を振り返って、 学んだことを自分の言葉でまとめる。  * <b>【D】</b> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用 意されているので、適宜利用するとよい。	<b>【知技】</b> ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解 し、適切に使っている。 <b>【知技】</b> ・具体と抽象など情報と情報との関係について 理解を深めている。 <b>【思判表】</b> ◎「話すこと・聞くこと」において、自分の 立場や考えを明確にし、話の構成を工夫している。 <b>【思判表】</b> ◎「話すこと・聞くこと」において、場の状 況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやす く伝わるように表現を工夫している。 <b>【主】</b> ・相手や目的に応じた話の内容や構成を考えるこ とに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、自分 の思いや考えを分かりやすく伝えようとしている。
言葉〈文法の窓／文法解 説〉	<b>【知技】</b> (1)イ, 2 年(1)オ	・文の成分の順序や 照応など文の構成	1 教材 (P 121) を読んで、文の意味が曖昧になっ ている原因を考える。また、「考えよう」に取り組む。	<b>【知技】</b> ・文の意味が曖昧になる原因を考えることを通 して、語感を磨いている。

曖昧な文・分かりづらい文——謎の予告状 P 121/P 260 1 時間		について理解する。	2 基「曖昧な文・分かりづらい文」(P 260~261) を読んで、曖昧な文や分かりづらい文になる原因と、分かりやすい文の書き方について理解を深める。また、「問題」①~②(P 261) に取り組む。  *Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	[知技]◎文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(2年(1)オ) [主]・進んで文の成分の順序や照応など文の構成について理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
言葉〈漢字道場〉 送り仮名 P 122 1 時間	[知技] (1)ア	・送り仮名の付け方について理解し、漢字を文や文章の中で使う。	1 「活用のある語」の前半(P 122)を読んで、活用のある語の、送り仮名の付け方の原則と例外について理解し、「問題」①~②に取り組む。 2 「活用のある語」の後半(P 123)を読んで、同じ漢字を使った互いに関連のある語の、送り仮名の付け方について理解し、「問題」③に取り組む。 3 「活用のない語」(P 123)を読んで、活用のない語の、送り仮名の付け方の原則と例外について理解し、「問題」④に取り組む。	[知技]◎送り仮名の付け方について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [主]・進んで送り仮名の付け方について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
読む〈詩(日本語のしらべ)〉 初恋 P 124 1 時間	[思判表] C(1)ア  活C(2)イ	・表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 *古語や文語文法による表現については、適宜、意味を確認する。 2 七五調など、表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 3 「詩人と作品」(P 126)を読み、島崎藤村について知る。	[思判表]◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、詩の構成や展開の仕方などを捉えている。 [主]・進んで詩の表現の特徴を捉え、学習課題に沿って、リズムを感じ取りながら朗読しようとしている。
5 伝統文化を受け継ぐ(10~11月 11時間)				
古典 万葉・古今・新古今 P 128 3 時間  他社会(歴史)	[知技] (3)ア [思判表] C(1)ウ	・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら音読し、和歌の世界に親しむ。 ・和歌の意味や使わ	1 タイトル下の問いかけ(P 128)や「てびき」の目標(P 134)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 和歌の解説(P 128~129)を読み、和歌や代表的な歌集について知る。適宜、漢字を確認する。 3 「万葉集」(P 130~131)を読み、内容を大まかにつかむ。	[知技]◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 [思判表]◎「読むこと」において、和歌の構成や表現の仕方について評価している。 [主]・進んで和歌を音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、意味や技法などに注意しながら鑑賞

		<p>れている技法に注意して、鑑賞文をまとめる。</p>	<p>4 設問①～②（P134）に取り組み、音読を通して和歌のリズムを味わい、和歌に詠まれた心情や情景を読み取る。</p> <p>5 「古今和歌集」（P132）と「新古今和歌集」（P133）についても、3～4の手順で学習する。適宜、漢字を確認する。</p> <p>*「古典コラム 和歌の修辞」を適宜参照し、表現効果を高める技法を確認する。</p> <p>6 設問③に取り組み、好きな和歌を一首選び、鑑賞文をまとめる。</p> <p>7 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>*この教材と併せて、<b>資</b>「恋歌をよむ」（P292～294）を読み、修辞に着目して和歌を読み味わう方法を知るのもよい。</p> <p>*<b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>文をまとめようとしている。</p>
<p>古典 おくのほそ道  P135 3時間  <b>他</b>社会（歴史）</p>	<p><b>[知技]</b> (3)ア <b>[思判表]</b> C(1) 立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しむ。</li> <li>・構成や表現の特徴と、その効果について考える。</li> </ul>	<p>1 タイトル下の問いかけ（P135）や「てびき」の目標（P143）を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「おくのほそ道」の解説（P135）を読み、作品の成り立ちや概要を知る。適宜、漢字を確認する。</p> <p>*「古典コラム 俳諧の歴史」の内容にも触れ、俳諧や俳人についても確認する。</p> <p>3 冒頭（P135～136）を読み、内容を大まかにつかむ。</p> <p>4 設問①～②（P143）に取り組み、音読を通して表現や文体を読み味わい、作者の旅への思いを読み取る。</p> <p>*『『おくのほそ道』旅程図』（P137～138）を参照し、芭蕉の旅程を確かめるとともに、各地で詠まれた句にも触れるとよい。</p>	<p><b>[知技]</b>◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p> <p><b>[思判表]</b>◎「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。</p> <p><b>[主]</b>・進んで古典を読んでその世界に親しみ、学習課題に沿って、文章と句が組み合わされていることの効果について話し合っている。</p>

			<p>5 「奥州藤原氏の栄華と、義経の最期」(P139～140)を確かめたうえで、平泉(P141～142)を読み、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>*「12世紀の平泉復元想定図」(P139～140)を参照し、平泉の地形を確かめるとよい。</p> <p>6 設問①と③に取り組み、音読を通して表現や文体を読み味わい、二つの句に込められた作者の思いを読み取る。</p> <p>7 設問④に取り組み、「おくのほそ道」の構成や表現の特徴や、その効果について考えたことを話し合う。</p> <p>8 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>*この教材と併せて、<b>資</b>『『おくのほそ道』の旅』(P295～297)を読み、歴史的背景や作者の思いについて理解を深めるのもよい。</p> <p>*<b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>古典 論語</p> <p>P144 3時間</p> <p><b>他</b>社会(歴史)</p>	<p><b>[知技]</b> (3)イ <b>[思判表]</b> B(1) 立, C(1)エ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の言葉を読み味わい、自分の文章に生かす。</li> <li>・古典の言葉を引用し、自分の考えを書く。</li> </ul>	<p>1 タイトル下の問いかけ(P144)や「てびき」の目標(P147)を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「論語」の解説(P144)を読み、「論語」の成り立ちや概要を知る。適宜、漢字を確認する。</p> <p>3 「論語」の言葉(P145～146)を読み、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>4 「論語」のそれぞれの言葉について、設問①～②(P147)に取り組み、音読を通して訓読の仕方に慣れ、孔子のものの見方や考え方を読み取る。</p> <p>*「古典コラム 漢文の読み方」を適宜参照し、返り点や置き字について確認する。</p> <p>5 設問③に取り組み、「論語」の言葉に当てはまるような体験や事例を発表し合う。</p>	<p><b>[知技]</b>◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。</p> <p><b>[思判表]</b>◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり古典の言葉を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p><b>[思判表]</b>・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。</p> <p><b>[主]</b>・進んで長く親しまれている言葉を読み味わい、学習課題に沿って、古典の言葉を引用しながら自分の考えを書こうとしている。</p>

			<p>6 設問④に取り組み、「論語」の言葉や、「古典コラム 古典の言葉」(P148～149)などから言葉の一つを選び、その言葉を引用しながら、自分の考えを書く。</p> <p>7 「振り返り」(P147)を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>*<b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>言葉〈日本語探検〉 言葉の移り変わり—— タイムマシンで出発！ 言葉の昔へ</p> <p>P150 1時間</p>	<p>【知技】(3)ウ</p>	<p>・言葉の変化について理解する。</p>	<p>1 教材(P150～151)を読んで、話や文章に表れている言葉の変化を大まかにつかむ。</p> <p>2 「まとめ」(P151)を読んで、言葉の変化について理解する。適宜、漢字を確認する。</p>	<p>【知技】◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。</p> <p>【主】・進んで言葉の変化について理解し、課題意識を持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 他教科で学ぶ漢字(2)</p> <p>P152 1時間</p> <p><b>他</b>社会・数学・理科・技術・家庭・保健体育</p>	<p>【知技】(1)ア</p>	<p>・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>1 問題(P152)に取り組み、社会、数学、理科、技術、家庭、保健体育で学ぶ語句に用いられる漢字を確認する。</p> <p>*他教科の教科書を適宜参照し、その漢字が含まれる語句を学ぶ時期や、その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。</p>	<p>【知技】◎他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>6 関係を読む(11～12月 8時間)</p>				
<p>読む〈文学二〉 故郷</p> <p>P154 5時間</p>	<p>【知技】(1)イ 【思判表】C(1) イエ ⑥C(2)イ</p>	<p>・登場人物の思いについて考えながら、作品を読み深める。</p> <p>・作品を読んで考えを深め、社会の中で生きる人間について、自分の意見を持つ。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ(P154)や「てびき」の目標(P169)を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 設問①～④(P169)に取り組み、場面の展開と人物の思いを捉えて、作品を読み深める。</p> <p>*「言葉の力 人間関係の変化に着目する」を読んで、登場人物の設定や人間関係の変化について理解する。</p>	<p>【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。</p>

			<p>4 設問⑤に取り組み，社会の中で生きる人間について，感じたことや考えたことを話し合う。</p> <p>5 「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>6 「広がる言葉」（P170）に取り組み，語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>*<b>資</b>「言葉を広げよう——古風な言葉」（P342～343）を見て，語彙を増やすための参考にとよい。</p>	<p>[主]・進んで人物の思いについて考えながら作品を読み深め，学習課題に沿って考えたことを話し合おうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 紛らわしい漢字</p> <p>P171 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア</p>	<p>・形や音の似た，紛らわしい漢字について理解し，漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>1 問題①～③（P171）に取り組み，形の似た漢字があること，なかには音も似た漢字があることなどを理解する。</p>	<p>[知技] ◎形や音の似た，紛らわしい漢字について理解し，漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>[主]・進んで紛らわしい漢字について理解し，学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む〈読書〉 何のために「働く」のか</p> <p>P172 2時間</p>	<p>[知技] (3)オ [思判表] C(1)エ 活 C(2)ウ</p>	<p>・読書を通して自分の生き方や社会との関わり方を考え，自分の将来について考えを持つ。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ（P172）と「将来の目標や計画を立てよう」（P180）を確認し，学習の見直しを持つ。</p> <p>2 「何のために『働く』のか」全文を通読し，働くことの意味について自分はどうか考えるか，話し合う。適宜，漢字を確認する。</p> <p>3 「将来の目標や計画を立てよう」を参考に，自分の生き方や社会との関わり方について考え，本や資料，インターネットなどで関心のある働き方や仕事について調べる。</p> <p>*「情報活用コラム 生活の中のさまざまな文章」を読み，実用的な文章の読み方や活用の仕方を確かめる。</p> <p>*「本で世界を広げよう〈現代社会〉」（P178～179）を手がかりに，働き方や仕事について考えたり，現代社会の仕組みについて理解を深めたりしてもよい。</p> <p>*<b>資</b>「私のおすすめの本」（P287），「本の世界を楽しもう」（P288～291）を見て，さまざまな職業について</p>	<p>[知技] ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p> <p>[思判表] ◎「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間や社会について，自分の意見を持っている。</p> <p>[主]・進んで自分の生き方や社会との関わり方について考え，これまでの学習を生かして，自分が関心のある働き方や仕事について調べようとしている。</p>

			考えたり,今後の読書生活の参考にしたりするのもよい。	
7 思いを馳せる (1~3月 21時間)				
<p>読む〈言葉とメディア〉 いつものように新聞が届いた——メディアと東日本大震災</p> <p>P 184 3時間</p> <p>〔他〕社会・理科・家庭・保健体育</p>	<p>【思判表】 C(1) エ ⑦ C(2)ア</p>	<p>・情報やメディアの意義について考えを深める。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ (P184) や「てびき」の目標 (P194) を確認し,学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し,内容を大まかにつかむ。適宜,漢字を確認する。</p> <p>3 設問① (P194) に取り組み,文章の内容を読み取る。</p> <p>4 設問②~③に取り組み,災害時における情報の伝わり方や価値,メディアの特徴や役割,伝えることの意義について話し合う。</p> <p>*「言葉の力 情報をより深く捉える」(P195) を読んで,情報をより深く捉えるためのポイントを理解する。</p> <p>5 「振り返り」を読み,学習を振り返って,学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>【思判表】◎「読むこと」において,文章を読んで考えを広げたり深めたりして,人間,社会,自然などについて,自分の意見を持っている。</p> <p>【主】・進んで情報やメディアについて考えを深め,学習課題に沿って考えたことを話し合おうとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える言葉の力〈論理的な言葉の力——議論する力〉 合意を形成する</p> <p>P 196／P242 1時間</p>	<p>【思判表】 A(1) オ</p>	<p>・お互いの意見の共通点やよい点を見つけて,合意を形成する。</p>	<p>1 教材 (P196) を読んで,漫画に描かれた話し合いのよくないところを見つける。</p> <p>2 〔基〕「合意を形成する」(P242~245) を読んで,合意形成の仕方について理解を深め,お互いの意見の共通点やよい点を見つけて,合意を形成する。</p> <p>*〔D〕この教材には,関連するデジタルコンテンツが用意されているので,適宜利用するとよい。</p>	<p>【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において,お互いの発言を生かしながら話し合い,合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】・進んで合意形成の仕方を理解し,学習課題に沿ってお互いの意見の共通点やよい点を見つけようとしている。</p>
<p>話す・聞く〈話し合う〉 話し合いで意見をまとめよう——合意形成を目指す話し合い</p> <p>P 197</p>	<p>【思判表】 A(1) アオ ⑦ A(2)イ</p>	<p>・多様な考えを想定し,伝えたい内容について検討する。</p> <p>・進行の仕方を工夫したり,お互いの意</p>	<p>1 教材冒頭 (P197) の問いかけと目標を確認し,「学習の流れ」を見て,見通しを持つ。</p> <p>2 手順①~⑤ (P198~202) に取り組み,「地域をよりよくするために自分たちができること」というテーマで話し合い,お互いの意見を生かして結論を出す。</p>	<p>【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において,目的に応じて社会生活の中から話題を決め,多様な考えを想定しながら材料を整理し,伝え合う内容を検討している。</p> <p>【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において,進行の</p>



<p>4時間</p> <p>他社会・理科・家庭・保健体育</p>		<p>見を生かしたりして話し合い、合意を形成する。</p>	<p>*「言葉の力 多様な考えを想定する／お互いの意見を生かして結論を出す」(P199, 200)を読んで、お互いの考えを尊重しながら意見をまとめるためのポイントを確かめる。</p> <p>*前の「合意を形成する」(P196/基P242～245)で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>3 「振り返り」(P202)を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>仕方を工夫したり、お互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】・積極的に多様な考えを想定して伝えたい内容を検討し、学習の見通しを持って、お互いの意見を生かしながら話し合おうとしている。</p>
<p>書く〈感性・想像〉 今の思いをまとめよう ——時を超える手紙 P203 5時間</p>	<p>【思判表】B(1) ウエ 活B(2)イ</p>	<p>・中学校生活を振り返ったり将来を展望したりして、自分の思いを手紙にまとめる。</p> <p>・下書きした手紙を読み返し、文章を整えて清書する。</p>	<p>1 教材冒頭(P203)の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～④(P204～207)に取り組み、「過去の人物」か「未来の自分」に宛てて手紙を書く。</p> <p>*「言葉の力 書きたい内容を考える／手紙の書きだしと結びを整える」(P205, 206)を読んで、手紙に書く内容や、書きだしと結びの形式について確かめる。</p> <p>*手紙の形式については、資「手紙の書き方」(P308)を見て確認するとよい。</p> <p>3 「振り返り」(P207)を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>【思判表】◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【思判表】◎「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。</p> <p>【主】・積極的に書きたい内容を考え、学習の見通しを持って手紙を書きあげようとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 文法のまとめ——怪盗Xから名品を守れ P208/P262 1時間</p>	<p>【知技】(1)イ, 2年(1)オ</p>	<p>・単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解を深め、文法の復習をする。</p>	<p>1 教材(P208)を読んで、文法的な性質の異なる語を見分ける。また、「考えよう」に取り組む。適宜、漢字を確認する。</p> <p>2 基「文法のまとめ」(P262～263)を読んで、文法の復習をする。また、「問題」1(P263)に取り組む。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>【知技】・文法的な性質の異なる語の見分け方を理解することを通して、語感を磨いている。</p> <p>【知技】◎単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解を深めている。(2年(1)オ)</p> <p>【主】・進んで単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 間違いやすい言葉</p>	<p>【知技】(1)ア</p>	<p>・読み間違えたり書き間違えたりしや</p>	<p>1 問題①～②(P209)に取り組む、読み間違えやすい言葉があることや、複数の読み方がある言葉もある</p>	<p>【知技】◎読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p>

P 209 1時間		すい言葉について理解し、漢字を文や文章の中で使う。	ことを理解する。 2 問題③～④に取り組み、書き間違えやすい言葉があることを理解する。	[主]・進んで間違えやすい漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
読む〈詩(詩の言葉)〉 レモン哀歌  P 210 1時間	[思判表] C(1) ウエ  ㊦ C(2)イ	・効果的な表現に注意して詩を読む。 ・詩に描かれた生と死について考え、感想を持つ。	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 この詩の言葉で心に残ったところを挙げて、そこにどんな表現効果を感じられるかを話し合う。 3 この詩に描かれている生と死について考え、感想をまとめる。	[思判表] ◎「読むこと」において、詩の展開や表現の仕方について評価している。 [思判表] ◎「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 [主]・進んで効果的な表現に注意して読み、学習課題に沿って感想をまとめようとしている。
読む〈詩(詩の言葉)〉 生ましめんかな  P 212 2時間  ㊦社会(歴史)	[思判表] C(1) ウエ  ㊦ C(2)イ	・効果的な表現に注意して詩を読む。 ・詩に描かれた生と死について考え、感想を持つ。	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 この詩の中の「私が生まれましょう」と「生ましめんかな」の言葉の違いに着目し、表現の効果や役割について考える。 3 この詩の最後の三行について、感じたことや考えたことをまとめ、話し合う。  *「レモン哀歌」と「生ましめんかな」の二編を併せて読んで、感想や考えをまとめる学習に取り組むのもよい。	[思判表] ◎「読むこと」において、詩の展開や表現の仕方について評価している。 [思判表] ◎「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 [主]・進んで効果的な表現に注意して読み、学習課題に沿って感じたことや考えたことをまとめ、話し合おうとしている。
読む〈読書〉 最後の一句  P 214 3時間  ㊦社会(歴史)	[知技] (3)オ [思判表] C(1) エ  ㊦ C(2)イ	・文学作品を読み、人間や社会について考える。	1 タイトル下の問いかけ(P 214)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 3 「いち」の最後の言葉についてどう考えるか、話し合う。 4 「作家と作品」(P 229～230)を読み、森鷗外について知る。 5 「名作を読もう」(P 231～232)を見て、日本や海外の文学作品を知り、読書意欲を高める。	[知技] ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 [主]・進んで読書の意義について理解を深め、これまでの学習を生かして、さまざまな本を読もうとしている。

			<p>*<input type="checkbox"/> 「私のおすすめの本」(P287), 「本の世界を楽しもう」(P288~291)を見て, 今後の読書生活の参考に するのよ。</p>	
--	--	--	--	--